

プレスリリース

弘前れんが倉庫美術館 プレイベント
アーティスト 小沢剛と学生達による“公開制作”を開催
場所：旧紺屋町消防屯所（青森県弘前市）

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）では、2020年4月11日の開館に向けて、プレイベントを開催します。

このたび、国内外で広く活躍する現代美術作家・小沢剛が、東京藝術大学の学生約10名とともに弘前に1週間滞在し、作品の公開制作を行います。小沢と学生達は街の歴史や文化について学びながら、青森県が誇る伝統文化「ねぶた」の技法を応用したインスタレーション作品の制作に挑戦します。会場は、弘前公園に隣接する洋風の歴史的建造物「旧紺屋町消防屯所」。制作過程は毎日公開され、街の人々との対話や交流が作品に反映されていきます。ねぶたの技術や地域の文化、現代のアーティストの視点が混ざりあって生まれる新しい作品にぜひご期待ください。

公開制作の最終日は、青森県の文学者や郷土史を研究している文筆家・世良啓氏をゲストに招き、地域の風土やゆかりの文化人について語るトークイベントを開催します。

【開催概要】

- タイトル 小沢剛研究室 公開制作「地平線と戯れる装置を作るための一週間」
- 公開制作 2019年9月18日（水）～ 9月23日（月・祝） [見学自由] 10:00～17:00
- 成果展示 2019年9月24日（火）～ 10月20日（日） [観覧無料]
*建物外からの鑑賞となります
- 会場 旧紺屋町消防屯所（弘前市大字紺屋町2-2）

｜トークイベント｜

- 日時 2019年9月23日（月・祝）16:00～17:00 [参加無料・予約不要]
- 会場 旧紺屋町消防屯所
- 出演 小沢剛（現代美術作家）、世良啓（文筆家）

- 主催 弘前れんが倉庫美術館 開館準備室（弘前芸術創造株式会社）
- 共催 弘前市、東京藝術大学先端芸術表現科小沢剛研究室
- 協力 丹鶴庵

【プロフィール】

小沢 剛（おざわ つよし）



1965年東京生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授。ユーモアを交えながら社会を鋭く批評する作品を絵画、写真、映像、インスタレーション、ワークショップ等、多様な手法で制作している。近年の主な個展に森美術館（2004年、東京）、広島市現代美術館（2009年）、千葉市美術館（2018年）など。また「第50回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展」（2003年、イタリア）、「第10回リヨンビエンナーレ」（2009年、フランス）、「瀬戸内国際芸術祭2013」「ヨコハマトリエンナーレ2017」など数々の国際展にも参加。2019年、第69回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

【広報画像 | 参考作品】

画像掲載をご希望の場合は press@hirosaki-moca.jp までお問い合わせください。

その際、ご希望画像 | 媒体名 | 貴社名 | 掲載・放送予定日 | ご担当者名 | ご住所 | 電話番号 | メールアドレスをお知らせください。



1. 《ベジタブル・ウェポン—縄文鯛鍋/青森》2007年
* 参考作品



2. 《不完全》2018年 撮影：椎木静寧
* 参考作品

【お問い合わせ先】

弘前れんが倉庫美術館 開館準備室 [N&A (株) 内] 担当：大澤、鎌倉

TEL：070-1007-6144 E-mail：press@hirosaki-moca.jp

〒036-8182 青森県弘前市土手町87 旧一戸時計店